

団の自己診断をしてみましょう

大阪連盟の半数以上の隊が複数組・班を持っていない状況です。
今までいろいろな対策が打ち出され、それぞれ努力していますが厳しい状況を脱することができません。

どうしたら良いのか。答えは簡単です。新規加盟員を増やし、途中退団者を減らすことです。

なぜ、新規加盟員が増えないのだろう？

なぜ、途中退団者が多いのだろう？

アクションをおこす前に、団における課題・問題点等について、ぜひ『自己診断』を試してみてください。

●スカウト教育法の活用

- ★班長(組長)の活用をいつも心がけ、活動していますか。
- ★班(組)集会を必ず実施していますか。
- ★保護者の方々に積極的に班(組)集会に参加するよう勧めてもらっていますか。

●隊指導者の養成

- ★指導者としてWB研修所の当該課程を修了していますか。
- ★ラウンドテーブルには参加していますか。
- ★定型外訓練等に進んで参加していますか。



●団の運営

- ★スカウトの進歩の情報を得て支援できていますか。
- ★定例に団会議・団委員会は開催されていますか。

団が抱える悩みはそれぞれ異なります。団委員長ひとりが頭をかかえるのではなく、課題・問題点について保護者を含めた団関係者全員で、話し合い、見つけ出し、危機感を共有し、課題解決に向け一歩ずつ着実に行動に移すことが大切です。

キャンポリーをめざして!
さあ! みんなで始めましょう!!

大阪連盟再生プロジェクト委員会は、皆様と共に考え「標準隊」をめざすお手伝いをさせていただきます。

団・自己診断シート

団運営、BS 隊・CS 隊のあり方を、団委員長として自己診断しましょう。

「とりあえず、今何をすべきか?」「何から改めるべきか?」「団としての正しい姿は?」等を考える参考にしていただきたいと思います。

項目に対して「YES」でもなく「NO」でもないか?なんて迷ったら「NO」です。

自分に厳しくチェックされるようお願いいたします。

(A) 団運営について

- | | | | |
|--|-----|---|----|
| 1 あなたの団には団委員が8人以上いる | YES | ・ | NO |
| 2 育成会が保護者会や他の育成団体と共に組織化されている。 | YES | ・ | NO |
| 3 育成会との連携ができています | YES | ・ | NO |
| 4 スカウト募集に関しては団委員会が主体で実施している | YES | ・ | NO |
| 5 団委員会において各隊支援、安全管理、進歩促進等に関して担当団委員がおり団委員会として機能している | YES | ・ | NO |
| 6 団財政が健全・透明である | YES | ・ | NO |
| 7 地域での活動に積極的に参加し、BS 活動普及に努めている | YES | ・ | NO |
| 8 地区運営に積極的に参画している | YES | ・ | NO |
| 9 隊指導者に対し自己研鑽に努める様支援している | YES | ・ | NO |

(B) ボーイ隊に関して

- | | | | |
|-------------------------------------|-----|---|----|
| 1 あなたの団のBS 隊は
スカウト数16人以上、2個班以上ある | YES | ・ | NO |
| 2 隊指導者は隊長以外に2人以上の副長がいる | YES | ・ | NO |
| 3 上級班長がいる | YES | ・ | NO |
| 4 上級班長の主導で班長会議を毎月実施している | YES | ・ | NO |
| 5 班長訓練は毎月実施している | YES | ・ | NO |
| 6 年間プログラムにはスカウトの進歩計画が反映されている | YES | ・ | NO |
| 7 進歩目標は「全てのスカウトに菊章取得」である | YES | ・ | NO |
| 8 隊(班)キャンプ・ハイクを月1回以上実施している | YES | ・ | NO |
| 9 年間プログラムは団委員会の承認を得ている | YES | ・ | NO |
| 10 VS 隊への上進率は80%以上である | YES | ・ | NO |
| 11 保護者会を年2回以上実施している | YES | ・ | NO |
| 12 隊指導者は進んでRT や定型外訓練に参加している | YES | ・ | NO |

(C) カブ隊に関して

- | | | | |
|------------------------------------|-----|---|----|
| 1 あなたの団のCS 隊は
スカウト16人以上、2個組以上ある | YES | ・ | NO |
| 2 隊指導者は隊長以外に2人以上の副長がいる | YES | ・ | NO |
| 3 各組にDL がいる | YES | ・ | NO |
| 4 各組にDC がいる | YES | ・ | NO |
| 5 組集会はDL により月2回以上実施されている | YES | ・ | NO |

6	年間プログラムは全ての指導者が参加して作成している	YES	・	NO
7	年間プログラムはスカウトにとって楽しく、また進歩計画が反映されている	YES	・	NO
8	スカウトの活動出席率は90%以上である	YES	・	NO
9	BS 隊への進率は90%以上である	YES	・	NO
10	保護者会は各組毎と隊での会が実施されている	YES	・	NO
11	隊指導者、DL は保護者会にて推薦されている	YES	・	NO
12	隊指導者は進んで RT や定型外訓練に参加している	YES	・	NO

診断結果

◎全てが「YES」の団は、現状維持に努めてください。

健康的な団といえます。

◎全てが「NO」の団は、今日から再出発しましょう。

◎全てが「YES」の団は、健康的な理想団といえますが、自団の診断はいかがだったでしょうか？

「NO」の項目を少しでも減らし、自信を持って「YES」と言えるよう、下記の事項にご留意の上改善に努めてください。

以下の項目が「NO」の回答だった団委員長は下記事項にご留意の上改善に努めてください。

A-1 団委員長に負担が掛かりすぎているかもしれません。

A-2 育成会は保護者の集まりだけではありません。OBや多様な組織外の方々にも声掛けして組織の裾野を広げる努力をしましょう。

A-3 育成会の支援を得るためには、育成会とのコミュニケーションを図ることが必要です。次の団委員長やその補佐していただける方を探したり、次の指導者を選任するためには、育成会と絶えず対話するように努めましょう。

A-4 隊員の募集を隊長に任せていませんか？スカウト募集の第一の責任者は団委員長です。

A-5 何でもこなす団委員長は重宝がられますが、私達の活動においては次の方を育てることが大事です。折角団委員になっていただいても何の役務もなければ飾り物です。団委員長の負担を軽くするためにも団委員にお任せください。

A-6 活動するにはやはり「資金」が必要です。また収入以上の活動は団財政を破綻させます。身に合った活動をすることが大事ですが、お金が無いからといってむやみに活動を縮小できません。保護者以外の方々にも財政支援者を募りましょう。そして支援者の方々には収支報告書を正しく提出しましょう。

A-7 地域で認めてもらえるよう働きかけるのも団委員長の責務です。一人でも多くの支援者を確保することは団発展に直結します。

A-8 地区は団の集合体であり、各団へのサービス機関です。そして指導者全員で運営すべきであることを認識すべきです。

A-9 隊指導者も団委員（長）も、全ての指導者はスカウトのため最新の情報の収集に努めるとともに、スカウト教育のための自己研鑽努力を惜しんではいけません。各隊指導者の研鑽意欲を高めることも団委員長の責務です。

B-1 班制教育が十分に確保できません。とりあえず標準隊の体制になるよう目標を定めがんばってください。

- B-2 隊長の負担軽減と次の隊長の確保に努めてください。
- B-3、-4、-5
班制教育が出来ていないのではないのでしょうか。BS 隊における班長への指導は班制教育の根幹です。
- B-6、-7
進歩制度の活用が不十分です。誰のための、何のための進歩制度か、今一度考えてみましょう。
- B-8 野外活動は基本です。室内の活動からスカウトが得るものは、野外活動から得られるものよりはるかに少ないことを知ってください。
- B-9 スカウトの好奇心を満足させるもの、そしてスカウトの進歩のためにも、きっちりとした年間プログラムがなければいけません。団委員長として各隊の年間プログラムは把握すべきです。
- B-10 「スカウト活動は楽しい」ものならスカウト活動を続けたがるのでは？
- B-11 行事のときだけの保護者会ではなく、隊長は保護者の方々といつもコミュニケーションを確保するよう、隊長に助言してください。スカウトの成長に関して保護者と同じ認識を持つことによってスカウトの進歩計画に役立たせることができます、また次の指導者の確保にもつながります。
- B-12 隊長として最新の情報を収集することは大事です。また自己研鑽努力を惜しむことの無いよう、隊指導者を指導してください。
- C-1 班制教育が十分に確保できません。とりあえず標準隊を目指してがんばりましょう。
- C-2 隊長の負担軽減に努め、次の隊長の確保に努力してください。
- C-3、-4、-5
組活動が正しく行われていないのでは？特に DC の活用は BS 隊にとっても、CS 隊にとってもスカウト教育に有効な方法であるといえます。大いに活用するよう隊長に勧めてください。
- C-6,-7
年間プログラムはスカウトの興味を引き付け、好奇心を満足させ、且進歩に役立つものでなければいけません。団委員長として各隊の年間プログラムについて、その必要性和正しい展開方法を認識し、その内容を把握していなければいけません。
- C-8,-9
活動が楽しければ、きっと BS 隊への希望がつのるのではないのでしょうか。
- C-10,-11
保護者会を定期的に行い、保護者の方々と十分なコミュニケーションを図ることは隊長の重要な任務の一つです。組ごとに保護者会を開き、全ての保護者の方々に何らかの形で組の運営に関与していただくことは、次の DL の確保が容易になります。また団への協力も依頼しやすくなり、次の指導者、団委員の確保にもつながります。
- C-12 隊長として最新の情報を収集することは大事です。また自己研鑽努力を惜しむことの無いよう、隊指導者を指導してください。

以上自己診断によって「NO」と回答された項目が一つでも「YES」に変わるよう、団委員長として指導力を発揮してください。

団委員長のあなたがこの重要性を認識し、正しい団運営（隊運営）を推し進める意識が今求められていることです。